

第 26 節 ガンマナイフセンター研修〔選択科向け研修〕

一般目標

ガンマナイフ治療の特徴を理解し、その適応を判断する能力と基本的な治療手技を習得する。

具体的目標

- ① ガンマナイフの構造、放射線生物学的特性、および治療の長所と短所を理解する。
- ② 脳腫瘍や脳動静脈奇形などの治療適応となる中枢神経系疾患について、神経放射線学的な診断ができる。
- ③ 指導医とともに初診外来患者の病歴を聴取し、また神経学的所見を評価できる。
- ④ 医学的状況や患者をとりまく社会的環境などを総合的に勘案して、ガンマナイフ治療の適応が判断できる。
- ⑤ カンファレンスで症例のプレゼンテーションが行える。
- ⑥ 助手としてガンマナイフ治療に携わり、フレーム装着や神経放射線学的検査における注意点や生じうる合併症を理解し、対策を講じることができる。
- ⑦ 指導医とともに治療計画用コンピューターを操作し、初歩的な線量計画が立てられる。
- ⑧ 治療後の神経所見・神経放射線学的検査に基づいて、治療効果を評価できる。

実臨床研修

- ① 毎朝のカンファレンスにて新入院患者のプレゼンテーションを行う。
- ② 治療患者の診察に立ち会い、病歴、現象、治療方針とその根拠について診療録に記載し、その内容について指導医・上級医の指導を受ける。
- ③ 実際のガンマナイフ治療に立ち会い、指導医のもとに処置を行う。

研修評価

- ① 上級医・指導医との協議を行い、理解度を評価する。
- ② 院内共通の評価様式に則り、総合評価を行う。

初期救急対応、当直対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

当直は、指導医の指導の下に、外来や病棟での救急対応を行う。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	(土)	(日)
午前	カンファランス 治療計画	カンファランス 治療計画	カンファランス 治療計画	カンファランス 治療計画	カンファランス 治療計画		
午後	治療 外来	治療 外来	治療 外来	治療 外来	外来		